

第2学年 学級活動学習指導案

令和2年1月22日（水）第5校時

1 題材名 「おいしかったね！お正月りょう理」

学級活動（2）エ 食育の視点を踏まえた学校給食と望ましい生活習慣の形成

2 題材について

（1）教材観

給食を食べている時、よく厚揚げ、サトイモ等がわからないと児童に質問されることがある。家庭の食卓に上らないことも多く、伝統的な食材を知らない児童が増えてきている。また、年中行事の話をしてもらえない児童も増えてきている。テレビで取り上げられたものなどは良く知っているが、あまり有名でないものは、わからないことが多い。厳密な意味は、大人でもわからなくなっているものが増えてきている。年中行事は、私たちが祖先から受け継いできた様々な願いがこもった行事であり、それが、食と密接に結びついている。少しでも、次世代へと継承していかせたいと、本題材を設定した。また、季節によって様々な行事があるのだという理解の一助としたい。また、本校には、外国籍の児童が多数在籍する。本授業を通して日本という国の理解につなげるとともに、外国籍の児童の自分たちの国への理解や、私たちのそれぞれの国に対する理解につなげていきたい。

（2）児童の実態

本学級は活発な児童が多く、図書館に行くことを好み、好奇心が強く読書が好きな児童が多い。学習面では、繰り返して取り組む漢字などはあまり得意ではないが、積極的に発表することは得意としている。朝運動には必ず全員参加し、粘り強く取り組む姿が見られる。食に関する面では、野菜が嫌いな児童が多く、給食時に減らしている児童がいまだに見られる。嫌いなものが少ない児童は、給食を積極的にかわりすることが多く、2学期は、食缶が空になることが多かった。また、ほとんどの児童が完食できるようになってきている。

日常の給食の様子を見ていると、伝統的な食材を知らない児童が多く、厚揚げ、高野豆腐、ひじきなどは見た目でも嫌悪感を示し、これは「お豆腐の仲間だよ。」「わかめの仲間だよ。」と説明して初めておそろおそろ箸をつけている。同様に、季節の祝日や行事は意味が理解されていないことが多く、機会あるごとに説明をしている。給食でも、季節の「行事食」が出ることもあるが、放送を聞いて意味を理解することが多い。あるいは、食べた覚えはあるが、いつだかわからないなど、季節と結びついていない児童も多い。

（3）指導観

今回は、自分が食べてきたという体験をもとに友だちの話を聞き、さらに関心を高めていきたい。子どもたちにとっては、お正月は楽しいものという認識があるが、食との結びつきは希薄であるため、その由来を理解できるように指導していきたい。日頃食べている給食の中にも実は、行事食が含まれていることを伝えてもらい、知らないと思っていた年中行事が自分たち

から遠い存在ではないことを理解することにつなげていきたい。また、自分たちの住む地域には、昔から伝わる料理や季節、行事にちなんだ料理があることや、日常の食事は地域の農林水産物と関連していることを理解できるようにしたい。いろいろな国に行事食はあり、様々な願いのもとに食事がされていることの理解につなげたい。日本の食文化や食に関わる歴史にふれたり、諸外国の食事の様子を知ったりすることで、日本や諸外国の伝統や食文化を大切に、お互いに尊重できるよう働きかけたい。

3 研究主題との関わり

(1) 研究主題 「学び続ける子の育成」
～家庭・地域・諸機関との連携を深め、生きて働く食に関する資質、能力を身につけた児童の育成～

(2) 研究の仮説

仮説1 食に関する知識・情報を身に付け、自ら管理したり判断したりすることで、課題を解決できる子

○明確な課題を与え教科の性質に合った学習過程を展開すれば確実に基礎基本が身につく、それを利用し自ら管理したり判断したりすることで課題を解決できるであろう。

仮説2 関わる人々に対して感謝する心を持ち、よりよく向上しようと生活する子

○学校が家庭や地域と連携し体験活動等を充実させれば、自身に関わる人々の気持ちがわかり感謝する気持ちが育ち、よりよく生活することができるであろう。

(3) 仮説に対する手立て【○本単元の手立て ●学年全体を通しての手立て】

仮説1 ○正月という行事、食を理解することで、他の行事にも関心を持ち、健康で健全な食生活に関する知識や技能を身につけるようにする授業展開の工夫。

●各教科における単元計画に、食育に関わる内容を取り入れた授業づくりの工夫や改善。

仮説2 ○給食にも行事食が含まれていることを学び、正月料理の由来を栄養教諭から聞きながら食に関わる全ての人への感謝と祖先から続く願いの心を育む授業展開の工夫。

○様々な国の食についての願いを聞き食事を通じた人間形成能力を養う授業展開の工夫。

●学年園で野菜を栽培し、育てることで作ってくれる人への感謝の気持ちを持たせる。




4 本時のねらい


- ・正月という行事を通して、食べ物の中に様々な願いが含まれていることを理解する。
- ・日本の食文化にふれたり、諸外国の食事の様子を知ったりすることで日本や諸外国の伝統や食文化を大切にするには何が必要か考えることができる。

5 食育の視点

◇各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。【食文化】

6 展 開


時間	学習活動	・指導上の留意点 ★食育の手立て		□資料 ◇評価規準
5分	1 お正月に食べたものについて想起させる。 T「お正月にどんなものを食べましたか。」 C1「お雑煮 おせち料理です」 C2「おもち くろまめです」 2 本時の課題を知る。	T1 (担任) ・お正月の食べ物について、絵本、写真などを提示する。 ・調べてきたお雑煮について、話をする。	T2 (栄養教諭) ・お正月の料理について、写真などを使って提示する。	<input type="checkbox"/> 資料 <input type="checkbox"/> お節料理の写真
10分		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">お正月りょう理のひみつをしろ</div>		
10分	3 冬休みの宿題のシートを栄養シートに貼る。 ・分類した後、グループでどんなお雑煮だったか話し合う。 T「自分のお雑煮について、みんなとお話をしましょう」 T「気付いたことをメモしましょう」 C1「野菜やお肉かお魚が必ず入っている」	・どんなものが入っているか声をかけながら、分類する。 ・グループでの報告について、話し合いの指示をする。	・分類の手伝いをする。	<input type="checkbox"/> 分類シート <input type="checkbox"/> 見本の掲示 ◇友だちの発表を聞き、自分の意見と似ていることや違いを比較したり考えたりしている。
10分	4 お正月の料理には意味があることを聞く。 T2「黒豆は、健康に暮らせませうように伊達巻は、勉強ができますようにという意味があります」	・クイズのヒントを出す。 ・願いや意味に注目させる。	・正月料理のクイズをする。 ・クイズを通して正月料理の意味を話す	<input type="checkbox"/> 正月料理クイズの掲示 【思考 判断】
5分	5 外国籍の子のお正月について話を聞く。 ・バングラデシュ「6月のお正月について」 ・スリランカ「お祝いの料理について」			<input type="checkbox"/> 料理の写真

<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中国（児童の母 ゲストティーチャー） 「お正月のお料理と中国のお正月について」  <p>6 グループで話し合いをする。 T「いろいろなお正月のお話を聞いて気が付いたことをグループで話しましょう。」 C1「お正月のお料理にはいろいろな意味があるんだね」</p> <p>7 まとめをする。 ・シートにわかったことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> お正月の料理のお話を聞いて気が付いたことを話し合う。 お正月の料理にはいろいろな願いが込められていることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 珍しい食材の補足をする。 グループに声をかけて、補助をする。 給食にも行事食が含まれていることを伝える。 	<p>◇お正月料理の話聞き、その由来や願いを理解している。 【知識 理解】</p>
-----------	---	--	--	---

板書計画

おいしかったね！お正月りょう理

お正月のおりょう理（写真）



お正月りょう理のひみつをしろ


お正月のおりょう理の話聞いてわかったこと

おぞうにシート


▼

わかったこと

お正月りょう理のねがい



外国のりょう理



まとめ